

10月は私にとって有意義な月でした。「道の駅完全制覇プロジェクト」や「町外視察研修」、「海浜清掃」など、面白くてためになる活動にたくさん参加させていただいたことで、広報に掲載する記事の内容にとても悩みました。その時、「可愛い子には旅をさせよ」ということわざが頭をよぎり、「これこそが」と決めました。

今月はオムイフォーラム21が主催した「町外視察研修」に決めました。一泊二日の研修旅行で自分が感じたことについてお話ししたいと思っています。

この旅で私にとって印象深かったのは「沼田町暮らしの安心センター」の施設見学です。町民の利便性を重視し、医療「厚生クリニック」、福祉・子育て「あんしんセンター」と通所介護・介護予防事業「デイサービスセンター」の三つの要素を1か所に集約している多機能施設になっています。また、館内に町民が直営している、手頃なカフェショップと町民からの寄贈本によるライブラリーもあり、建物の木材構造と相まって、心地良い空間になっていることから、病院やデイサービス帰りの皆さんが話しをしたり、お茶を飲んだりとのんびり過ごして自宅へ帰る場所と なっています。



地域おこし協力隊
タオさん

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～

ングマシンが3種類配置されていて、町民が運動のモチベーションを高めるように考えられています。また、測定コーナーで運動前後に血圧、骨密度を計測し、自分の結果を記録用紙で確認できます。このような運動室があれば、町民の皆さんによく活用され、若者の活動場所を一つ増やせるのではないかと思います。

さて、実は施設見学よりさらに印象的に残っていることがあります。研修旅行で行った幅広い世代の人との交流です。初対面の人もいて、世代のギャップもあるかもしれないと思いましたが、夕食後にテーブルを囲み、皆さんの若い頃の話や町のことを色々聞かせてもらいながら話しができたため、緊張が解けて距離が縮まったように感じました。

私は「可愛い子」ではないのですが、今回の研修旅行を通じて、日本についての知識を深めたり、綺麗な風景を見ることができたり、そして何よりも皆さんとさらに仲良くなれる旅でした。



↑施設前での集合写真

Kids

わんぱくキッズ (若草保育所) ～大きくなったら～



もんでん
はやとくん



たかはし
ゆなちゃん



たぐち
ひなとくん



はせべ
そうやくん

Everyone's infirmary

みんなの保健室

インフルエンザ・ノロウイルス対策を!

新型コロナウイルス感染症がまだ心配なこの頃ですが、これからの季節はインフルエンザやノロウイルスも流行しやすい時期となります。



これからの時期は**特に感染症対策**が必要です

新型コロナウイルス感染症の**流行と重なる可能性**があることや、インフルエンザを発症すると、新型コロナウイルス感染症との**区別がつきにくい**ことがあります。



対策のポイント

インフルエンザ・新型コロナウイルス

- ・人との距離を保ち、3つの密（密閉・密集・密接）を避ける。
- ・マスクを着用し、咳エチケットを守る。
- ・こまめな手洗い（1回30秒以上、石けんと流水で丁寧に手指消毒を行う。
- ・規則的な生活習慣とバランスのよい食事をする。
- ・インフルエンザは**予防接種**で重症化を防ぐ。



ノロウイルス

- ・食品はしっかり**加熱処理**を行う。目安は中心温度が85～90℃で90秒以上加熱する。特に**二枚貝**（カキ、アサリ、ハマグリ、ホタテ、ホッキガイ）は十分に加熱を行う。
- ・まな板や包丁などの調理器具は**熱湯で消毒**を行う。
- ・トイレの後や調理、食事前後は特に丁寧に**手洗い**を行う。



病気の予防のため、感染症対策などを
いま一度、家族や職場で確認しましょう。

問保健福祉課保健係